

会 議 録

会議名	令和7年度 第1回 宇都宮市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	令和7年10月3日(金) 10:00~11:30
開催場所	宇都宮市役所 14大会議室
出席者	<p>【委員】手塚泉, 小室かな子, 佐藤孝明, 秋成大, 内藤良弘, 石川順章, 浅海伸子, 小松整洗, 野澤克子, 増渕祥子, 上野すみ子, 小牧裕昭, 木村洋, 和田大輔, 一宮道代, 宮崎倫男, 福田光子 計17名</p> <p>【事務局】環境部長, 上下水道局技術担当次長, 環境部次長, 環境部副参事, 環境創造課長, 環境創造課総務担当主幹, 環境保全課長, 廃棄物政策課長, 廃棄物政策課副主幹, ごみ減量課長, 廃棄物施設課長, 廃棄物処理施設整備室長, 下水道管理課長, 下水道建設課長, 下水道施設管理センター長, 水質管理課長, 廃棄物政策課課長補佐, 廃棄物政策課職員6名, ごみ減量課職員3名, 下水道管理課職員2名</p>
公開・非公開	公開
傍聴者	—
議題	<p>1 会長選出</p> <p>2 諮問</p> <p>3 報告事項 宇都宮市一般廃棄物処理基本計画の策定について</p> <p>4 審議事項 現行「宇都宮市ごみ処理基本計画」の評価等及び次期「宇都宮市ごみ処理基本計画の骨子(案)」について</p> <p>5 審議事項 現行「宇都宮市生活排水処理基本計画」の評価等及び次期「宇都宮市生活排水処理基本計画の骨子(案)」について</p>
会議結果	<p>1 委員の互選により内藤良弘委員を会長に選出</p> <p>2 議事について了承</p>

主な質疑応答	
現行「宇都宮市ごみ処理基本計画」の評価等及び次期「宇都宮市ごみ処理基本計画の骨子(案)」について	
小室かな子委員	今後は焼却ごみを減らしていくという考えで良いのか。
事務局	<p>まずはごみを出さないという, ごみの発生抑制に取り組み, それから出てしまったごみに対しては分別をし, 資源化する。</p> <p>そして, 最終的に焼却ごみを減らすという一連の流れで考えている。</p> <p>焼却ごみを減らすというのは大きな目標の一つではありますが, 全体からとらえて, 発生抑制からリサイクルまでの3Rを推進するという考えで考えている。</p>

小室かな子委員	燃えるごみを減らすために、分別をしていくことも大切だと思う。 焼却ごみの中の生ごみの割合が多い状態が続いているが、生ごみ削減のために市民にどのように協力を求めているのか。
事務局	まずは家庭系焼却ごみの中に約10%含まれている食品ロスを減らすことが重要であると考えていることから、フードドライブやフードシェアリングなどとあわせて生ごみ削減の取組を展開していく。
秋成大委員	不法投棄について具体的にどのような取組を検討しているのか。またどのように件数を減らしていくことを考えているか。
事務局	件数については、近年10年で減少傾向にあり、近年は300件程度で横ばいである。 地域の方と連携しながら、市においてもパトロールや監視カメラを設置することで、不法投棄の未然防止を図っている。 また発生した場合には警察とも連携し、迅速に対処することで、拡大防止を図っている。
手塚泉委員	市が実施したフードドライブの参加者数の指標であるが、目標値は今後増やしていく予定か。また、市民や事業所の意識醸成を図るということで、人数が基準になってると思うが、人数ではなく、量としてはどのくらいなのか。
事務局	目標値については受取側の都合やさばける量など踏まえて今後検討していく。 量としては、昨年が1,823kg、一昨年が1,237kgで、例年1000kgを超えてる量を集めており、活用していただいている。
手塚泉委員	市民の方からフードバンクの品物の種類により、不足があると聞いているが、その点についてはできる限りの対応は行っているという認識でいいのか。
事務局	品物の種類によって過不足が出てしまうのかもしれないが、集めた食品はすべてお渡ししている状況である。
小室かな子委員	提案になるが、手前取りについて子どもが父親に手前どりを促す良いCMを見たのでそれを参考に、視点を変えた周知するといいいのではないかと。 また、事業系ごみの資源化について、アンケート調査結果より、事業者からの先進事例を紹介してほしいという声があるが、本市として企業側への提案を行っていたり、そのような先進事例を把握しているのか？
事務局	消費者側への意識の変革が必要だと考えており、子ども世代の理解促進を目的に、小学4年生を対象に社会科補助教材を活用し、周知に取り組んでいる。 事業者様への資源化に係る先進事例の発信については、「事業系ごみ適正処理マニュアル」を毎年作成し、事業系ごみの適正処理推進の先進事例について周知に取り組んでいる。
小室かな子委員	水俣市だったと思うが、中学生がごみステーションに立ち、ごみの分別方法をごみを捨てに来た人に教えるというような取組を行っているようである。 すぐに実施することは難しいと思うが、子どもや学校を巻き込んだ取組を実施するのはどうか。
事務局	子ども目線や親と子で取り組む等、そのような周知の工夫については、次期ごみ処理基本計画の中で検討していければと思う。 また事業系ごみについても、現在事業者に対して戸別訪問の中で指導を行っている。 その中で知り得た良い事例を事業者に展開していければと考えている。

現行「宇都宮市生活排水処理基本計画」の評価等及び次期「宇都宮市生活排水処理基本計画の骨子(案)」について	
石川順章委員	し尿・浄化槽汚泥量などの目標値と実績値の乖離が大きい要因はどのように考えているか。
事務局	公共下水道と合併浄化槽の整備が進み、汲み取りトイレや浄化槽から転換されれば、減少していく見込みとなっている。 し尿については、人口減少や下水道接続等が進み、汲み取りトイレの数の減少に伴い、年々減少している。 浄化槽汚泥については、人口減少しているものの世帯数は増えている現状から、浄化槽基数は増えており、汚泥量が見込みより減っていないのが原因と考える。
石川順章委員	今後の取組としては汲み取りを減らすのか汚泥を減らすのか。
事務局	どちらか一方を減らす取組というよりかは、公共下水道への接続や浄化槽への転換などの取組を進めるとともに、下水道未整備区域の整備などを主体的に進めて行きながら、どちらも減少させていきたいと考えている。
その他	
佐藤孝明委員	焼却ごみの中のリチウムイオン電池の混入は年々増えているのか。 またそれに対し、どのような対策を行っているのか。
事務局	増加量については詳細な確認は取れていないが、実際にリチウムイオン電池が原因とみられる火災が全国的に増えている。 電池類の適正処理を進めるため、市民の皆様に対し、新聞折り込みチラシやホームページの活用、分別講習会の開催など、様々な広報媒体や機会において周知しているところである。
増淵祥子委員	プラスチック製容器包装の分別について困っていたことがあり、一週間ほど前の新聞折り込みチラシに記載があり、理解できた。このような周知手法は良いと思った。今後も続けてほしいと思う。 包装が過剰で中身が少ない状況はどうにかならないのか。これは事業者に努力してもらわないといけないが、市の方で何か中身に対して、梱包は半分又は3分の1まで等という規制を設けることはできないのか。
事務局	新聞折込チラシについては、年3回程度配布している。さきほど質問があった電池類の正しい捨て方に関するチラシについても配布している。 過剰包装については、現在、大規模・中規模事業者様から、一般廃棄物減量等計画書を提出していただいております。廃棄物の減量・資源化の取組の一つとして指導できると考えている。
事務局	先ほどの過剰包装についての補足になるが、行政の方から商品に対して規制するのは難しいと考えている。 ただ、各事業者に対する戸別訪問指導の中で、事業者様に可能な限り過剰包装の方はしないような工夫をしていただくようお願いをしている。 一方で、消費者の皆様が過剰包装等を避けるようにすることで、事業者様の方から簡易包装へと販売戦略を変えることにつながると思う。そのため、市民の皆様にも過剰梱包の商品はできる限り避けるよう、意識啓発周知を行っている。

小松整洗委員	乾電池やモバイルバッテリーをごみステーションに乱雑に廃棄する方々がいて、リサイクル推進員として周知をしているが徹底されてない現状である。モバイルバッテリーの出し方について、茂原の火災もあったことから、分別を周知徹底していただけるよう要望としてお願いしたい。
野澤克子委員	小山市や野木市等では「もやすしかないごみ」というインパクトのあるネーミングで指定ごみ袋制度を導入しているが本市としては指定ごみ袋制度を検討しているのか。
事務局	<p>いわゆるごみの有料化について、県内では25市町のうち、14市町が有料化を実施している。</p> <p>中核市では、62市のうち19市がごみの有料化を実施している。</p> <p>下野市は有料化はしていないが、指定袋を用いている。</p> <p>本市においては、これまでの施策を充実させながらごみの減量化を図っていき、ごみの有料化については、これまで同様、他市町の情報収集をしながら、有料化の課題や効果等について、より具体的に検討している。</p>
小室かな子委員	<p>過剰包装についてであるが、例えば消費者が自分のかごをもってきて、そのまま持って帰ることができれば、プラスチック製容器包装などを減らすことにつながると思う。事業者側と消費者側で過剰包装にならないようにするための双方の接点を探っていく必要があると思う。</p> <p>また、手塚議員からも意見があったが、フードバンクのほうで現状食品が少ないという声が私にも届いている。</p> <p>食品ロスについて、事業者側から直接市に循環するようなやり方が仕組みとしてあるといいなと考え、要望になるが、それを基本計画の中に組み込んでほしい。</p>